

# TSUDOI

## スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

### 本レポートコンテンツ

#### ◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測








#### ◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

#### ◆大穴：新規銘柄発掘ガイド


CMC新規リスト銘柄分析

### ◆調査銘柄 早見表

TOP	 ChainLink	 Celestia	 Kaspa
中堅	 Tezos	 Convex Finance	 ICON
新規	 Dymension		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。

 **とは** リサーチ担当の目線で、関連ニュースから中長期的に、いい影響がありそうな銘柄に表示しています。



有料  
レポート

# 週次トークン価格高騰 TOP銘柄




## トップ銘柄 分析ガイド 2/8

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰したTOP銘柄を調査し情報を提供するものです。話題になっている銘柄を週次でまとめて分析することで、市場で何が起こったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

今週は2つの銘柄が、過去の週次レポートに記載された銘柄となります。

◆Chainlink：2023年11月第1週目,2024年2月第1週目

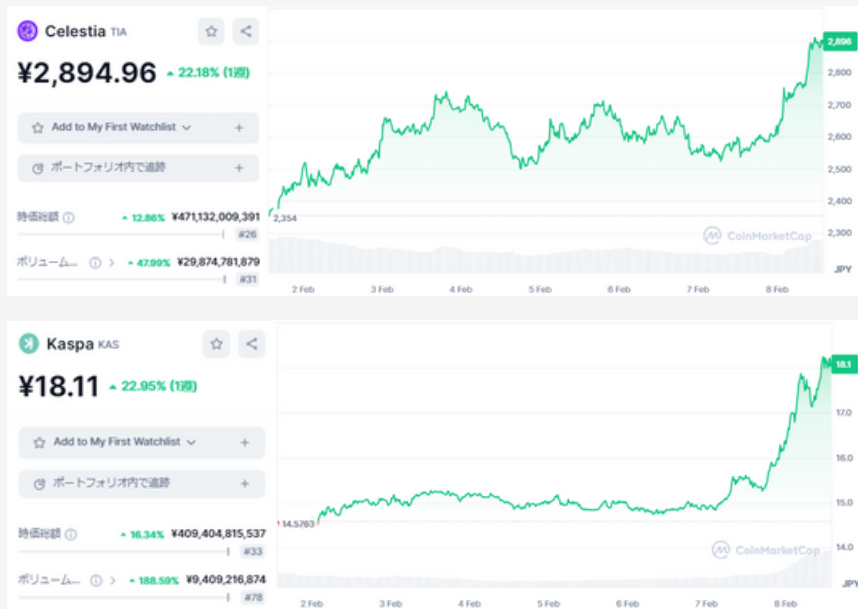
◆Celestia：2023年11月第2週目,12月第1週目,2024年1月第3週目

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	24時間取引量ランク	上昇率7days
#11	 <b>ChainLink</b>	platform	¥1,670,619,003,751	¥2,845.54	3.93倍 (SOL比)	#10	▲21.52%
#26	 <b>Celestia</b>	modular blockchain	¥471,132,009,391	¥2,894.96	2.47倍 (POL比)	#31	▲22.18%
#33	 <b>Kaspa</b>	Layer1	¥409,404,815,537	¥18.11	105.70倍 (ETH比)	#78	▲22.95%

## TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲5.70%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 銘柄の価格高騰要因(考察)

### Chainlink：LINK

**注目ポイント：先週のArbitrum, Protocol Labsとの提携後、2/7 PayPal USD (PYUSD)を発行するPaxosとの提携**  
先週に引き続き今週も提携のニュースが複数の業界大手メディアで取り上げられています。

PaxosとChainlinkの提携は、PYUSD (PayPal USD) の採用を促進し、その信頼性と実用性を高めることを目的としています。 PayPalは、世界的に広く利用されているオンライン決済サービスとなり、PYUSDは米ドルの預金、短期米国債券などによって完全に裏付けられてステーブルコインとなります。PaxosがPayPalのためにステーブルコイン PYUSDをブロックチェーン上で発行するサポートを提供し、Chainlinkがその価格情報を安全かつ信頼できる方法で提供することは、デジタル資産の世界と伝統的な金融システムを近づける大きな一歩となる可能性があると将来的な期待が高まっていると言えるでしょう。また、2/7には、LINKの大口投資家のトークン購入に関する活動も活性化しているというニュースもあり市場が活性化しています。

### Celestia：TIA

**注目ポイント：2/6 公式ブログにて、Celestia Foundationがバリデーションプログラムを発表**

ブロックの検証者(バリデーター)への委任プログラムは、ネットワークのセキュリティを強化する上で非常に重要な役割を果たします。これにより、バリデーターが利害関係のない第三者によって分散化されることで、Mainnet Betaのセキュリティと耐久性が向上します。分散化はブロックチェーン技術の核心的な特徴の一つであり、バリデーターが多様な地理的位置や背景から選ばれることにより、潜在的なネットワーク攻撃や故障のリスクを分散し、全体としてのネットワークの堅牢性を高めることができます。また、先日Binanceに上場し、話題となっているDYMは、Celestiaと同様にモジュール型ブロックチェーンです。この分野への注目が高まるたびに、モジュール型の代名詞であるCelestiaの名前も頻繁に挙がり、露出が増えることが予想されます。

### Kaspa：KAS

**注目ポイント：2/6 CryptoWallet.comとのウォレット統合を発表**




2/6 KaspaはCryptoWallet.comとのパートナーシップを発表しました。CryptoWallet.comは、ユーザーは、クレジットカード、デビットカード、銀行振り込みを使用して簡単に暗号通貨を購入、売却、交換することができる機能や、クリプトカードという暗号通貨を即座に法定通貨に変換し、世界中どこでもカード支払いが可能になるなどの利便性を有しています。Kaspaの独自ネットワークは、そのユニークな特徴を提供しますが、同時にその普及と利便性を高めるためには、外部のウォレットや取引所との連携が重要な課題となっています。このため、CryptoWallet.comとの統合はKaspa保有者にとって重要な進展と言えるでしょう。

# CMCサイト内 検索トレンド中堅銘柄 新規リスト銘柄

## 狙い目：中堅銘柄・新規銘柄 発掘ガイド 2/8

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅・新規銘柄を見つけるために、二つの重要な分析手法を採用しています。一つ目は、Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。二つ目は、CMCに新たに掲載された銘柄を対象に、時価総額ランキングで50位から200位の間に位置する新規銘柄があるかどうかを調査し、その情報を提供することです。

## 検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量ラ ンク	上昇率 7days
#66	 <b>Tezos</b>	platform	¥144,167,197,934	¥148.60	45.52倍 (SOL比)	#191	▲4.59%
#157	 <b>Convex Finance</b>	DeFi	¥43,515,449,646	¥465.50	13.08倍 (UNI比)	#210	▲8.74%
#200	 <b>ICON</b>	platform	¥31,382,076,680	¥32.05	209.13倍 (SOL比)	#624	▲0.94%

## 検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)

### Tezos：XTZ

**注目ポイント：2/6 Tezosの関連企業企業である『Fortify Labs』がaws cloudとの提携を発表**

Tezos Asia Pacific (TZ APAC)の支援を受け、Tezos経済圏の拡張に取り組んでいる「**Fortify Labs**」が**2月6日に Amazon Web Services (AWS) Cloudとの提携を発表**しました。この提携により、Tezosブロックチェーンネットワークの高度な技術力と信頼性を前面に打ち出すことが可能になり、今後の双方の活動についても期待が高まっています。ただし、この提携が業界メディアであまり取り上げられていないため、認知度はまだ限定的かもしれません。

## Convex Finance : CVX

注目ポイント：不明

Convex Financeは、有名DeFiサービスであるCurveでの取引において、より多くの報酬を獲得できるようにサポートするDeFiサービスとなります。しかし、このプロジェクトに関する最近の話題や注目を集めた理由は見つかりませんでした。公式のソーシャルメディアアカウントやブログも、1月8日以降更新されていません。DeFiプロジェクトの成功の指標の一つとして、投資家コミュニティへの露出を通じて管理されている資産の総額（TVL）の増加がありますが、Convex Financeの情報発信の頻度は他のプロジェクトに比べて劣っているようです。

## ICON : ICX

注目ポイント：『ICON Economic Policy IISS 4.0』のガバナンス投票での可決、IISS4R0への移行が進行中

この計画が実装されることで、ICONネットワークがより分散化され、セキュリティが強化された環境を提供することができ、トークン保有者は、改善されたネットワーク環境の中で、より安全にトークンを管理し、投資の機会を最大限に活用することを目指しています。2月8日に、ICONネットワークでリキッドステーキングが利用可能になったという情報が、公式のX(旧Twitter)アカウントから発表されており、業界メディアではあまり取り上げられてなかったものの、DeFiに詳しい投資家たちからは一定の注目を集めていた可能性もあります。

## 中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲5.70%となっております。



## CMC新規リスト銘柄：調査日 2/8

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	リスト 日時
#71	 <b>Dymension</b>	modular blockchain	¥138,587,352,160	¥949.23	8.59倍 (POL比)	#20	—

# Dymension : DYM

## 注目ポイント：2/6 Binanceへの上場と52万8000以上のウォレットに対してエアドロップによる影響

Dymension (DYM) は、52万8000以上のウォレットに合計で3億9000万ドル相当のエアドロップを行いました。このエアドロップは、開発者や初期のユーザーにプロジェクトに参加し、支援することを促すための戦略でした。この取り組みにより、開発者コミュニティからある程度の信頼を獲得することができたと考えられます。 Binanceに上場した直後、取引のエラーや遅れが発生したにもかかわらず、DYMの時価総額は52億ドルに達し、**業界内で71位にランクイン**しました。 このことから、プロジェクトに対する高い期待が伺えます。

しかし、この期待に継続的に応えるためには、今後も実績や成果を積み重ねていくことが重要ですが、Binanceへの上場や、最近注目を集めているモジュール型ブロックチェーンという分野での活動を考慮すると、**今後もDymensionは中長期的に注目されやすいプロジェクトであると言えるでしょう。**



## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo-i-platform.co.jp/>